



新年号

「江川せせらぎにたらい舟が浮かぶ」 森とせせらぎネットワーク代表 平井資嘉寿 新年明けましておめでとございます。

昨年10月に開催された、第6回森とせせらぎ祭りは、ピンポイント天気予報により、当初から小雨が予想されていたため、前日早朝の関係者幹部で協議の結果、残念ながら雨バージョンで開催することになりました。そこで早速協力23町会に広報車を出してお知らせしました。

今回の祭りは「新城から井田山までを繋ぐ」というコンセプトの元企画され、新城公園からせせらぎ遊歩道沿線そしてメイン会場の橋公園で各イベントを行う予定でした。ステージ演技については東橋中学校体育館で行われ、他のイベントも一部中止となりましたが、小雨が降る中参加者の努力により行うことができました。

今回始めての試みである、せせらぎに子供たち・親子を乗せ、たらい舟を流しましたが、これが大盛況で長蛇の列ができたほどでした。

反省点としては、会場を分散したために各部会でのスタッフ不足により、参加者の方々にご不便をお掛けすることになりました。大変申し訳なく思っております。今後は是非、祭りの運営に多くの若い方々の参加を期待したいところです。また、ご協力いただきました団体・役員等の皆様には衷心より感謝と御礼を申し上げます。有難うございました。



小雨の中行われた「たらい舟」

川崎市のせせらぎの水質などの改善の努力

せせらぎネットワーク事務局長 田辺勝義

去る11月28日にせせらぎ管理棟でせせらぎの水質と汚い藻の対策について説明がありました。これは、昨年6月のシンポジウムでの問題提起や大庭さんの議会での質問を受け、市の対応として行われたようです。川崎市上下水道局の田口さん以下4名から説明を受け、質疑をしました。説明は、以下のようでした。

9・28の第一回目の調査は上・中・下流と3か所で行い、藻の種類などの調査をした。中・下流の川床が汚くなるのは、アオミドロなどの緑藻類にフネケイソウという紅藻類が絡まって付着しているのが原因です。これらは簡単には切れたり、剥がれたりしないので、高圧洗浄を週間で元に戻つてしまうので、現在、川床を乾燥させる調査をしている。



藻の抑制実験

こうすると5週間程度は糸状の藻は抑制できている。さらに、ゴムマット等の調査をしている(約1週間で一部の藻類は死滅、剥離)。今後は川床の材料(砂や砂利等)での抑制調査を小関橋下流で12月から約2ヶ月かけて実施する。

これらの説明に対してネットより、立川市と比べてリンや窒素分が非常に高いという根本原因の対策が必要ではないか、**四〇二(有用微生物群)**での抑制はどうか、**自然河川**が平瀬川でワンドや竹炭などで浄化の努力をしているが研究してみたらどうか、との提起に対して、今順次調査をした上で対策の検討を進めており、中・長期的には等々力処理場のことも視野入る、との応答がありました。約1時間の説明会で、市の計画的な努力も分かりました。それを喜びつつ、根本的解決をなるべく早くと要望しました。



今年も晴れだといいわね! 祭り企画部会部長 久保 博文

今後のせせらぎネットワークの活動ですが、藻の大量発生による悪臭などの水質改善や、横断歩道や標識その他の交通安全に関する問題について、一昨年に周辺住民の皆さんから頂いたアンケート結果をもとに昨年開きましたせせらぎシンポジウムは周辺住民と行政との基盤のない話し合いが持たれ、現在は改善に向かい少しずつではありますが進んでおりますことをご報告いたします。

現在水質改善(藻の抑制)のための実験的な作業が川崎市上下水道局により行われています。東屋付近に砂や小石などの入った箱を試験的に設置して、一定期間様子を見ることになるかと思えます。どんな結果が出るのでしょうか、少しでも改善されればいいのですが。ご興味のある方は是非事務局までお問い合わせください。

江川せせらぎ遊歩道を快適に利用できるよう、今後とも行政と歩調を合わせ働きかけてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

昨年は、江川せせらぎ起点近くの新城公園を「森とせせらぎ祭り」会場のひとつに位置づけ、新城公園一今昔写真展・野生動物センター・菊花展・橋公園メイン会場・はがき給展・人力車の明津までつなごうという企画でした。

新城公園での催しとして、健康チェックは川崎医療生協ミニライブはメイン会場にも出演する3組を含めた6組のアーティスト、模擬店は公園近くのベージュ屋さん、下小田中のケーキ屋さん、バザーも出店が決まりました。

祭りの一週間前、新城公園に横断幕とポスターを貼り付け、周辺にチラシを入れました。その時、タロット占いをやっているという方も参加したいという申し出もあり、お洒落な企画満載となりました。ところが、当日は9時にテント立てなど準備を始めましたが、開始時刻の10時にはパラパラと雨が降り出しました。その時点で模擬店は販売していましたが、すぐに中止しました。ミニライブも中止、健康チェックは新城商店街「ほのぼの市」に合流しました。このように、雨のため中止、会場変更を余儀なくされました。しかし、今回試みた経験を活かして、せせらぎから井田山へつなぐ「森とせせらぎ祭り」への足がかりとなりました。

連載 「詩吟―続」

稲本 吼信

せせらぎで出店、盛り上がり完売

ひとみ座寄席を楽しむ会 会長 田辺 昇

奥伝免許と言うけれど、やればやるほどむづかしい芸のきびしき身にしみて師範の夢も道遠し

一般的には、奥伝と言えれば免許皆伝と言うことで、師範として立派にやっけて行く力が備わったと思われています。しかし、免許皆伝は「奥義を全て伝えること」は、師範が、全て伝えたとしても、弟子が全て吸収したとは言えません。と言うか、普通人は全てを吸収することは出来ないのが当たり前なのです。

それでは、何の為に昇段審査があった、ランクを決めているのか。特に、「奥伝」「奥義皆伝」などと言えれば即師範に成れそうな感じが

しますが、やっと卒業試験に合格し、社会人一年生となった若者の如く、イマイチばつとしません。

昇段試験とは、勉強すべき段階に線引きし、そこまで出来たら、その段位を授けようという物なので、取り敢えず設けられた階段です。これを、一段一段根柢よく登り詰めた先に、免許皆伝が待っています。許状を胸に喜び勇んでその先を見ると、その先には、更に長い階段があり、その入り口には「奥義とは水面に浮かぶ月の影、心で掴む道とこそ知れ」とある。そうなので

奥伝は、卒業し立ての社会人一年生と同じようなもの、本当の勉強はこれからだったので



せせらぎ遊歩道の桜並木



小雨でも人力車にご満悦

せせらぎ祭りに参加された皆様、お疲れ様でした。天気は昼前に雨が少し降りましたが、何とかおちまして、店も開くことができました。

せんでは昨年は都合により店を出せませんでしたが、今年は一ひとみ座寄席の人、人力車倶楽部の方々により出店することができました。会場は明津橋のそばにて、食べ物焼そば、豚汁、フランクフルト、生ビールと、以前のおしるこまではいきませんでした。20名ほどの皆さんのご協力により無事に販売することができました。小雨が降る中でしたが、大いに盛り上がり完売となりました。また人力車も雨の中にもたくさん

森とせせらぎネット及び関連団体イベント紹介

- 森とせせらぎネット
 - 1月26日(土)1時半〜 場所 井田神社1階ホール 会費1000円
 - 神庭里山を楽しむ会
 - 2月3日(日)9時〜 ジャガイモ植込み 場所 現地
 - 3月3日(日)9時〜 竹林管理、シイタケ栽培 場所 現地
- ※詳細お問い合わせ 766-6434(戸枝)
- 井田山健康の森を育てる会
 - 2月7日(木)9時〜 井田山クリーンデイ 場所 現地
 - 9日(日)9時〜 冬鳥観察会 場所 現地

〜シリーズ〜地産地消 中原・高津の農家

昨年11月末、天気はいにくの曇り空でとても冷え込んだ日でしたが、高津区明津の下山さんの直販所にお邪魔してお話を伺いました。



収穫を待つ野菜たち



伺ったお話の中で一番印象に残っていることは、「昔とは風景が全く違ってしまっ

た」ということです。この一帯は水田で畑ではなく、度々の水害・洪水などで随分と被害を被ったことその他の理由で、水田から畑への転換を余儀なくされたようです。「土を2mほど盛った。蟹ヶ谷へ登って行く人たちがここから

も見渡せた。」と下山さんはおっしゃっていました。

直販所野菜は畑の脇の販売機に収めてあり、火・木・土の販売は10時くらいから売り切れまで。現在みかんや柿の苗が植樹から3年目で販売できるような実が生るまでもう5年程かかるそうです。丹精込めて育てられた苗から美味しい果実を収穫できるまでにはまだ時間がかかりそうです。そのほか、今の時期は白菜・ねぎ・里芋・ブロッコリー・キャベツなどが収穫を待ちかねるように、畑を鮮やかな緑で彩っています。

下山宏一さんの直販所・高津区明津172

記事編集・本間 達哉

お詫び

佐藤克明氏による連載の「各地の祭を訪ねて」は都合によりお休みさせて頂いたいただきました。毎回の連載を楽しみにされている読者様には大変申し訳ありませんでした。

